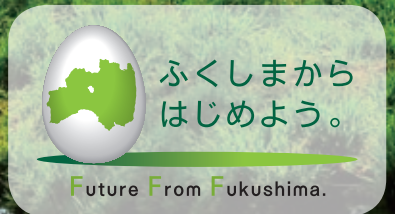


林業福島

No. **596**

題字 福島県知事 佐藤雄平



4

2014

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■緑の桜川



平成26年度予算について

福島県農林水産部長 畠 利 行

皆様方には、日頃より、本県の森林・林業施策の推進に御協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

震災から三年余りが経過いたしました。県土の七割を占め、多くの恵みをもたらす森林は、津波や原発事故により県内全域で大きな被害を受けており、県民の安全で安心な生活を早く取り戻すためには、その再生が喫緊の課題となっております。このため県におきましては、昨年三月に策定した「ふくしま農林水産業新生プラン」に基づき、重点的かつ戦略的に施策を推進することで、震災からの復興・再生に取り組んでおります。

平成二六年度は、東日本大震災及び原子力災害からの復興・再生に向けて、津波防災機能を強化した海岸防災林の復旧・整備や、きこの原木等の価格高騰に対応するための生産資材導入に係る負担軽減への支援を継続するほか、森林内の放射性物質が枝葉・樹皮から落葉層及び土壌へ移行していることに対応し、これまで得られた知見等を踏まえ新たな除染技術の確立に取り組みます。また、復興に力強く歩み続ける皆様の姿を全国へ発信するとともに、緑豊かな県土を再生し、次世代へ引き継いでいくシンボルイベントとなるよう、平成三〇年全国植樹祭の招致に向けて全国植樹祭準備委員会を設置したところであり、基本構想の策定や開催候補地の選定など、具体的な取組を進めてまいります。

安全・安心な農林水産物の提供につきましては、製材品の放射線の検査体制を構築し、安全性についてPRすることにより、県産材の安定的な流通の確保に努めます。

林業・木材産業の振興につきましては、間伐等の森林整備と放射性物質対策の一体的な推進により森林の再生を図るとともに、放射性物質の影響が比較的小さい地域において、きこの原木林の再生と将来における原木の安定供給を確実にするため、広葉樹林の更新の支援に新たに取り組みます。また、県産材の需要の創出に向けて、木材を多用し大規模建築物への活用が可能な直交集成板（いわゆるCLT）等の新技術の普及を促進するほか、間伐材等の森林資源を有効に活用するため、木質バイオマスエネルギー利用施設や木質バイオマス燃料製造施設の整備を支援します。

今後とも、本県の豊かな森林の再生と林業・木材産業を復興するため、課題を一つ一つ解決し前進していく姿を実感できるよう取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら	森林管理署メモ	10
平成26年度予算について	普及指導員通信	11
福島県農林水産部長	木材市況・東西南北	12
畠 利 行	はなしのひろば	13
今年の県林業予算		2～6
ふくしまの森・復興大会の開催		7～9

今年の県林業予算

森林づくりの計画・調整

▼森林計画課

森林計画課は、森林計画関係(地域森林計画、市町村森林整備計画、森林経営計画、森林審議会、国有林との調整等)、森林環境税や森林整備加速化・林業再生基金を財源とした施策の総合調整、森林整備地域活動支援交付金事業及び森林林業関係各課の調整業務を担当しております。

■平成二六年度予算(一般会計)

○県総予算(一般会計)

一、七四、五二、三百万円
(対前年比九九・〇%)

○農林水産部予算(一般会計)

一〇七、七二、四百万円
(対前年比九八・五%)

○森林林業関係予算(一般会計)

一〇、五八、九百万円
(対前年比九四・四%)

今年度の農林水産部の当初予算については、福島県農林水産振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」のめざす姿の実現に向けて、福島県総合計画「ふくしま新生プラン」に掲げる関連重点プロジェクト及び「ふくしま農林水産業新生プラン」に掲げる重点戦略を重点的かつ戦略的に推進するとともに、「東日本大震災及び原子力災害からの復興」、「安全・安心な農林水産物の提供」、「農業の振興」、「林業・木材産業の振興」、「水産業の振興」、「魅力ある農山漁村の形成」、「自然・環境との共生」の七つの施策の展開方向を柱に編成しています。

■森林環境税を財源とする事業

①森林環境基金事業

福島県では、豊かな自然環境や良好な生活環境を生み出す森林を将来にわたって維持し、次の世代に引き継いでいくため、平成十八年四月から森林環境税を導入し、森林所有者や林業の枠組みを超えた県民参画による森林づくりの施策を展開しております。

森林環境税は、水源のかん養等の森林の持つ公益的機能を確保することが県民生活にとつて重要であることから、森林環境の保全と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策の財源として、県民税均等割に加算する方式で納めていただいております。

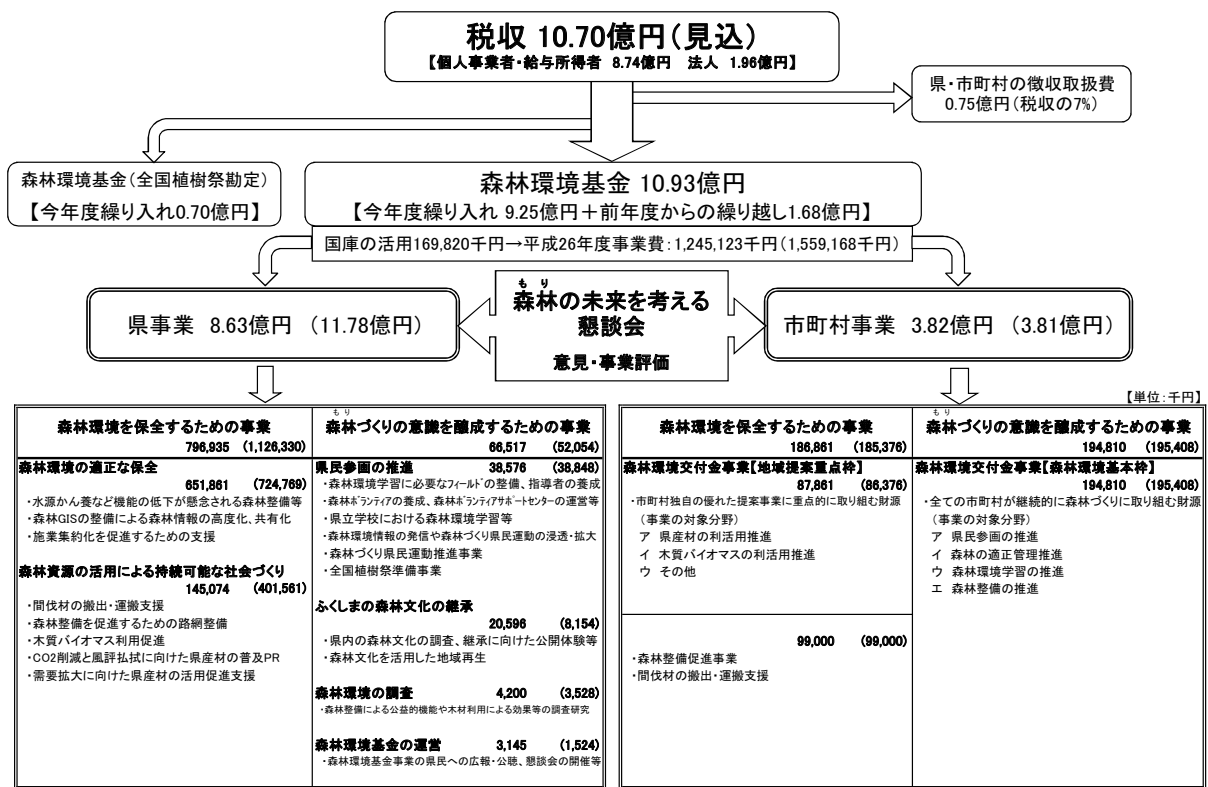
納めていただいた税金は、使途が特定されることから、「森林環境基金」を設け、税収から賦課徴収経費を差し引いた額を積み立てて活用しております。また、事業実施にあたっては、第三者機関である「森林の未来を考える懇談会」の意見を聴いたり、県ホームページで事業の実施状況を公表するなど、透明で公正な執行に努めております。

平成二六年度森林環境基金事業の当初予算額は二億四、五二万三千円で、森林林業総室内四課、文化振興課、水・大気環境課、建築指導課、高校教育課の計八課が担当します。事業の概要は、図のとおりです。このうち、森林計画課が実施する森林環境基金事業は次のとおりです。

①森林環境適正管理事業

森林GISを活用したインターネット上での森林情報の受発信等
五、九五、三千元

平成26年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)



② 森林環境交付金事業

市町村が地域の実情に応じて行うきめ細かな森林づくりを支援
二八二、六七一千元

③ ふくしまから はじめよう。森林とのかげ

森林環境に関する情報発信と、県民運動としての森林づくり活動の推進等
九、八六八千元

④ ふくしまの森林文化継承事業

福島県の森林文化調査、森林文化の公開体験等
八、五五六千元

⑤ 森林環境基金運営事業

森林の未来を考える懇談会の運営と、森林環境基金事業に対する県民の声を聴く等
三、一四五千元

■ 地域森林計画の編成

地域森林計画は、森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、森林の保全や森林整備の目標などの基本的な事項等を明らかにするとともに、市町村及び森林所有者等に森林施業上の指針及び規範を示し、その適切な施業の確保を図るため、民有林を対象として五年ごとに十年の計画を策定するものです。

本年度は、阿武隈川森林計画区において計画を樹立します。

二二、七一四千元

■ 森林整備地域活動支援交付金事業

森林の多面的機能を十分に発揮させるには、間伐等の森林整備を継続的に実施する必要があります。

当事業では、持続的な森林経営の実現や、計画的な森林整備の着実な実行に不可欠な「森林経営計画」の策定を推進するため、森林所有者や森林組合、林業事業者等が実施する次の取組を支援します。

① 「森林経営計画作成促進」への支援

林において、森林所有者や森林組合、林業事業者等が行う森林経営計画の策定のために必要な森林情報の収集・整理や、計画区域の検討、計画参画への森林所有者の同意取得等の活動を支援します。

② 「森林経営計画作成促進（経営委託型）」への支援

①に加え、森林整備に必要な森林の現地調査や路網調査を行い、その結果をもとに森林所有者に森林整備の提案を行う等、森林経営の委託契約を締結するための活動を支援します。

③ 「施業集約化促進」への支援

森林経営計画に基づき実施する間伐等について、集約化するために必要な現地調査や同意取得等の活動を支援します。

④ 森林整備加速化・林業再生基金事業

円高による輸入材の流入に対抗するとともに、東日本大震災による被害からの力強い復興を図るため、木材の供給体制の確立並びに木材供給の促進に取り組む必要があります。

当事業では、間伐対策のほか、路網等の生産基盤や、木材加工流通施設及び木質バイオマス利用施設等の整備を支援します。また、間伐材の運搬経費や、新たな木質バイオマス発電への燃料用木材の供給経費を補助するなど、川上から川下に至る一体的な取組を支援します。

① 森林整備加速化・林業再生協議会運営事業
市町村や森林組合等林業事業者、木材加工業者等で構成する協議会が行う、効果的な事業実施のための調査・調整・計画策定等に対して支援します。
八、二四一千元

② 間伐対策事業
木材の安定供給に向け、搬出が可能な森林を対象に市町村、森林組合等が行う間伐に対して支援します。
一、四九八千元

③ 路網整備事業
森林整備の推進と間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図るため、市町村、森林組合等が実施する林業専用道路や森林作業道の整備について支援します。
八二、九七五千元

④ 森林境界明確化事業
森林の境界が不明であることに起因して間伐が進まない森林において、市町村、森林組合等が行う境界明確化活動に対して支援します。
一七、八六五千元

⑤ 木材加工流通施設等整備事業
間伐材等の加工流通施設の整備について市町村を通じて支援します。
五七〇、一三三千元

⑥ 流通経費支援事業
協定に基づき間伐材を製材・合板・製紙用チップ等（燃料用を除く）に利用する目的で、加工工場へ運搬した場合、その運搬経費に対して支援します。
四一、〇〇〇千元

⑦ 森林・林業人材育成加速化事業
森林・林業の再生に必要な人材育成を加速化するため、森林施業プランナー育成研修の実施や個別指導を支援します。また、造林作業等の経験を積んでいる林業従事者等を対象に、素材生産の技能習得を支援します。
一〇三、二二二千元

⑧ 木質バイオマス利用施設等整備事業
間伐材等の森林資源を活用した林業・木材産業等の地域産業の再生を図るため、木質バイオマスエネルギー利用施設及び木質バイオマス燃料製造施設の整備を支援します。
四二、〇〇〇千元

⑨ 森林環境モニタリング調査事業
放射性物質の影響を受けた森林では、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の有する多面的機能の低下が懸念されるので、広域的・継続的なモニタリング調査を行い、放射能汚染の現況や経時変化を把握するとともに、森林整備や放射性物質の低減対策を速やかに推進するために必要な調査や情報収集を行います。

⑩ 森林環境モニタリング調査事業
森林における汚染状況の変化等を把握するとともに、放射性物質対策の事業を選定するために、県内各地の民有林において、森林内の空間線量率や立木等の放射性物質の濃度を調査し、併せて調査結果の評価・分析等を行います。
四五、七六〇千元

⑪ ふくしま森林再生推進事業
ふくしま森林再生事業に係る全体計画作成や、森林所有者の同意の取り付けを円滑に進めるために必要な情報を整備し、森林簿及び森林計画図に反映して市町村に提供します。
五三、一一八千元

⑫ 森林除染技術開発事業
放射性物質の影響を受けた生活圏に近接する森林において、落葉層除去等に加え、除間伐、木柵工、土壌被覆などを組み合わせて面的に行い、生活圏における放射性物質の影響を低減する新たな除染技術を開発します。
一〇〇、〇〇〇千元

県産材フル活用の促進

林業振興課は、県産材のフル活用を進

め、木材の流通量の拡大と森林所有者の

林業振興課

利益を確保することにより経営意欲を向上させるとともに、林業就業者及び林業技術者の確保・育成を推進し、持続可能な林業の再生を図ります。また、県内で生産される林産物の安全性を確保するため、「県産材製品の検査体制の整備」や「安全なきのこの生産」に向けた事業を展開します。

■**県産材の安定供給と利用促進**

木材加工流通施設等の整備に対する支援等により、木製品の安定供給を図るとともに、木質バイオマス利用施設の整備に対する支援等により、県産材の利用促進を図ります。

■**新たな分野への県産材の利活用**

大規模建築物等の木造化・木質化を進めるための技術講習会を開催するとともに、技術マニュアル・建築事例集を作成します。さらに、CLT(直交集成板)を活用した建築物の実証・展示を支援し、新たな需要の創出を図ります。

■**未利用間伐材等の利用の推進**

間伐材や燃料用木材の運搬、木質燃料製造施設の整備支援などにより、未利用資源の有効活用に取り組みます。

■**低炭素社会づくりの推進**

県産材を使用する木造住宅の建設を促進するため、家づくりマイスター受講修了者と連携したワークショップ等の普及啓発活動を実施します。

■**林業労働力の育成・確保**

林業への新規就業の促進や、林業事業者への社会保障拡充支援、林業労働者への能力向上支援など、総合的な森林整備担い手対策を展開します。

■**林産物の安全性の確保**

県内で生産される林産物の安全性を確保し、経営の安定と生産の回復を図るため、木材製品の放射線量を検査する体制の整備、安全なきのこを生産するために

必要な生産資材の導入支援、原木林等の除染実証事業などを実施します。

また、県産製材品の安全性のPRを図るための普及活動を実施します。

なお、当課の予算の概要は次のとおりです。

◆**林業・木材産業の構造改善**

一、一七八千円

◆**林業労働安全衛生対策**

① 林業労働安全衛生指導体制強化事業 一、三三〇千円

◆**森林整備担い手対策基金事業**

一〇七、〇〇三千円

① 新規参入等促進事業

② 社会保障充実強化事業

③ 林業労働者等研修事業

④ 林業労働安全衛生確保総合対策事業

⑤ 林業機械貸付事業管理費 等

◆**森林除染等実証事業**

(平成二五年度補正) 一三、八六七千円

(平成二六年度当初)

五、九一八千円

① きのこ用原木林再生事業

② 竹林再生事業

③ 野生きのこ等発生源環境再生事業

④ しいたけ原木除染システムの実用開発事業

⑤ 森林における放射性物質の拡散防止等調査事業

⑥ コシアブラによる土壌中の放射性物質除去調査事業

◆**特用林産の振興**

一六五、二三二千円

① きのこ類振興対策事業

② 安全なきのこ原木等供給支援事業

◆**林業試験研究施設の管理運営**

一七、九三二千円

◆**森林環境基金関係事業**

六三、五一六千円

① もつともつと木づかい推進事業

② 間伐材搬出支援事業

③ ふくしまの森林文化継承事業

④ 緑の住宅普及支援事業

◆**森林整備加速化・林業再生基金事業**

(平成二五年度補正) 一三、七一二千円

(平成二六年度当初)

九六五、三〇四千円

① 木材加工流通施設等整備事業

② 木質バイオマス利用施設等整備事業

③ 流通経費支援事業

④ 木質バイオマス安定調達コスト支援事業

森林の整備と林内路網の整備

▼ 森林整備課

東日本大震災以降、本県の森林整備は停滞しており、森林における土砂流出等の被害の発生が懸念されます。このため、森林の有する多面的機能の高度発揮のための森林整備や路網整備を推進し、放射性物質低減を図る森林再生に取り組みます。

また、平成二三年及び平成二五年に発



高性能林業機械による森林整備

⑤ 森林・林業人材育成加速化事業

⑥ 高性能林業機械等導入事業

⑦ 原木しいたけ再生回復緊急対策事業

◆**県産材検査体制整備事業**

五、五八五千円

① 県産材安全性確認調査事業

② 放射線検査実行体制整備事業

◆**新たな分野への県産材の利活用**

一、二六、二一九千円

① 大規模木造施設整備促進事業

② 地域材利用開発事業(CLT等新製品・新技術の実証展示)

◆**林業・木材産業金融の充実**

六、二八七、二二〇千円

生じた災害により被災し、現在も復旧していない林道施設の復旧について市町村を支援します。

■**森林再生関係**

原子力発電所の事故による放射能の影響により、森林整備等が停滞している森林において、森林機能を回復するため、間伐等の森林施策により、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減を図るための事業とモニタリング調査事業に取り組みます。

① ふくしま森林再生実証事業 五八、一三〇千円

② ふくしま森林再生事業 四、一五六、七五五千円

③ 広葉樹林再生事業 三九、一五〇千円

■**森林整備関係**

民有林を対象に、公共事業、森林環境基金、森林整備加速化・林業再生基金の、三つの仕組みにより、林業事業者等が計画的に行う森林整備を支援します。

① 一般造林事業（公共事業）

五九〇、二六〇千円

② 森林整備事業（森林環境基金）

四八五、五四三千円

③ 森林整備促進事業（森林環境基金）

二二一、五三八千円

④ 間伐対策事業（森林整備加速化・林業再生基金）

九七四千円

⑤ 県単一般造林事業（公共事業）

二、七六八千円

■ 路網整備関係

森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進や効率的で安定した林業経営の確立、山村地域の定住環境の整備、居住地周辺の森林整備のための基盤となる路網の整備を促進します。

① 林業専用道整備事業（団体営）

三〇、三二八千円

② 森林管理道整備事業（県営）

二二二、四〇五千円

③ 森林管理道整備事業（団体営）

一三〇、八八四千円

④ 森林居住環境整備事業（県営）

三九二、九一〇千円

⑤ 山のみち地域づくり交付金事業

三四六、五〇〇千円

⑥ 林道改良事業

二六、〇二〇千円

⑦ 林道舗装事業

一〇、八八一千円

⑧ 県単林道事業

一六、二六九千円

⑨ 路網整備事業（森林整備加速化・林業再生基金）

八二、九七五千円

⑩ 森林整備促進路網整備事業（森林環境基金）

三七、五〇〇千円

⑪ 間伐材搬出支援事業（森林環境基金）

二五、〇〇〇千円

■ 公有林・種苗関係

公有林のうち、県営林については、県産材の復興需要に因應するため、伐採収入を確保しながら、保育間伐を拡大して実施します。また、四月から「公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社」となった林業公社に対して、事業実施のための資金の貸し付けを行います。

種苗では海岸防災林等の造成に必要なマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ等の種子確保と、花粉の少ないスギ苗の供給体制整備に集中的に取り組みます。

① 県営林の保育管理事業

八六、九二九千円

② 育種育苗事業

七、九七三三千円

③ 花粉の少ない森林づくり事業

二、八九二二千円

④ 林業公社事業

七六〇、七八六千円

■ 災害復旧関係

平成二三年及び平成二五年に発生した豪雨災害等、異常気象により被災した林道について、市町村が行う災害復旧事業を支援します。

① 林道災害復旧事業（現年災）

三九五、七九〇千円

② 林道災害復旧事業（過年災）

一、三八九、三三二二千円

もり
森林づくり運動の推進と安全で快適な県土形成

▼ 森林保全課

森林保全課では、県民参加の森林づくり・緑化の推進、森林病虫害防止対策、安全で快適な県土形成のための治山事業、保安林制度を通じた保安林の適正管理及び民有林の森林を開発する際の審査・指

導を行う林地開発許可制度に関する業務を担当しています。
◆ 森林づくりの推進と森林保護
県民参加による森林づくり活動と緑化運動を支援し、森林とのふれあいの場を

提供することにより、森林を県民全体で支える意識の醸成に取り組みとともに、復興のシンボル事業として全国植樹祭を平成三十年に開催できるよう招致に向け、準備を進めています。

また、松くい虫やカシノナガキクイムシ等による被害から、貴重な森林を守るための防除対策を行っています。

■ 森林とのふれあい・緑化活動の推進

① 総合緑化対策事業

一〇、〇一八千円

② 森林総合利用対策事業

七二、六〇二千円

③ 森林とのふれあい施設管理事業

九七、二二四千円

④ 全国植樹祭準備事業

二、九七一十千円

■ 森林環境基金事業

① 森林環境学習の森整備事業

一一、四一四千円

② 森林ボランティア総合対策事業

九、二五九千円

③ 森づくり指導者育成事業

一、九二二二千円

■ 森林保護

① 森林病虫害等防除事業

六二、八二八千円

・ 松くい虫の防除

薬剤防除・伐倒駆除・樹幹注入ほか
・ カシノナガキクイムシ対策



森林教室



海岸林での植樹

◆ 治山事業による県土の保全

治山事業は、民有保安林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から県民の

生命・財産を保全するとともに、水源のかん養、生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るうえで不可欠な事業です。

平成二六年度の治山事業は、被災地の復旧や予防、森林の機能強化などの事業を効果的に実施し、山地災害に対する減災対策を図るとともにコスト縮減等に積極的に取り組み効率的な予算の執行に努めます。

特に、津波により失われた保安林の機能を確保するため、多重防壁の一環として海岸防災林造成事業による復旧を加速させます。

県単独治山事業については、国庫補助事業に採択されない被災地の復旧及び予防が必要な地区のうち、緊急性や優先度を総合的に勘案し、箇所毎の優先順位を適正に定め順次執行していくこととしています。

全庁的に展開している「地産地消の推進」については、県産間伐材を利用した森林土木工法の推進や平成十四年度から導入している治山ダムの間伐材型枠工等により、平成二六年度の木材使用目標量を一、三〇〇立方メートル程度と見込んでいます。

また、森林GISを活用し、最新の山地災害危険地情報を県民に提供することなど、ソフト対策の充実を図ることにより、防災意識の高揚や避難態勢の整備が進められ、減災効果の向上に寄与することを期待しています。

■ 一般治山費

（二五年度補正）

一、五九五、五三四千円

（二六年度当初）

四、〇四五、一二八千円

① 復旧治山事業

（二五年度補正）

	一、一四五、五九四千元 （二六年度当初）
② 地すべり防止事業 （二五年度補正）	五五四、六八三千元 一四四、二〇〇千元 （二六年度当初）
③ 防災林造成事業 （二五年度補正）	二五七、五〇〇千元 二八〇、三三〇千元 （二六年度当初）
④ 水源地域等保安林整備事業 （二五年度補正）	二五、四一〇千元 二五、四一〇千元 （二六年度当初）
■ 一般治山費（県単）	
① 予防治山事業	一〇一、七四五千元 五四八、四八二千元
② 山地災害総合減災対策治山事業	四九一、五〇五千元 五六、九七七千元
■ 災害関連治山費	
① 災害関連緊急治山事業	一八、一七六千元 一四、九四六千元
② 林地崩壊対策事業	三、二三〇千元
■ 県単治山費	
① 治山施設事業（県営）	一二一、八七二千元 九一、二四二千元
② 治山施設事業（補助）	二七、一三二千元
③ 治山施設管理事業	一、九五七千元
③ 県単治山調査事業	一、五四一千元

■ 治山災害復旧費

一、〇一一、三一九千元
◆安全で快適な暮らしを守る保安林の管理と適正な林地の利用と森林パトロールの実施
現在、県内には国有林と民有林合わせて森林面積の約三九割、約三八万畝が保安林に指定されています。

水源のかん養や山地災害の防備・生活環境の保全形成等、私たちが安全で快適に暮らせるように、特に重要な森林を保安林として指定し保全するとともに、伐採の規制と適切な実施を実施することなどにより適正に管理し、森林の機能の維持増進を図るものです。

東日本大震災により被災した海岸部の保安林を復旧するため、保安林整備委託事業において、国の「東日本大震災復興に向けた保安林整備予算（平成二五（二七年）」を活用し、二五年度に引き続き被災した海岸部の保安林指定適地調査や保安林指定に係る森林所有者情報整備調査を行います。

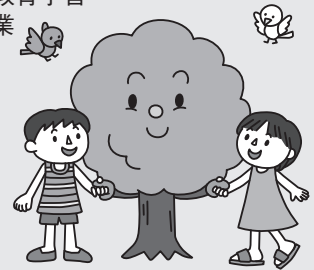
また、森林の保全や適正な利用促進のために森林パトロールを実施します。さらに、森林において土石を採掘したり、林地以外に転用する行為は、無秩序に行われると森林の働きが損なわれ災害が発生するおそれがあることから、林地開発許可制度による審査や指導を行います。なお、重要な事項を審査する場合は、外部意見の聴取のために森林審議会森林保全部会を開催します。

- ① 森林保全管理事業 八、六四八千元
- ② 保安林整備委託事業 五七、四四〇千元
- ③ 保安林整備管理事業 一四、九〇〇千元

平成26年度

一般財団法人福島県林業会館 フォレスト助成金(協賛)事業の募集要項

1. 趣 旨 一般財団法人福島県林業会館（以下「林業会館」という。）は公益事業としてフォレスト助成金（協賛）事業を募集します。
2. 総 額 4,500千円
3. 募集事業の内容
 - (1) 対象事業
イ. 森林の整備 ロ. 木材の利活用 ハ. 特用林産の振興 ニ. 森林・林業教育学習
ホ. 森林とのふれあい推進 ヘ. 森林・林業に関するその他必要と認める事業
 - (2) 事業費
一事業あたりの助成金（協賛）額は、原則として20万円以内とする。
4. 助成（協賛）対象者
 - (1) 県内の林業に携わる県内所在の団体であること。
 - (2) 交付条件を遵守することが確実であること。
 - (3) 交付金によって目的事業を実施することが確実であること。
5. 申請方法
 - (1) 申請手続 林業の目的、内容、交付申請額を福島県林業会館事務局まで提出する。詳細は事務局まで電話してください。
 - (2) 事業の実施期間 平成26年4月1日から1年以内。
 - (3) 受付期間 平成26年4月1日から5月末日まで。
6. 事業の採択決定 林業会館が設置する「フォレスト助成金審査委員会」で選定いたします。
7. 応募先 〒960-8043 福島市中町5番18号 一般財団法人福島県林業会館事務局あて
TEL・FAX 024-522-2407



ふくしまの森・復興大会の開催

（公社）福島県森林・林業・緑化協会

- 開催日 平成26年3月22日（土）
開催内容 11：00～ 「祈念植樹式」（南相馬市鹿島区北海老）
13：00～ 「復興大会」（南相馬市民文化会館「ゆめはっと」）
テーマ 「海から里、森林へとつながるふくしまの森づくり」

「ふくしまの森・復興大会」は、東日本大震災により甚大な被害を受けました海岸防災林をはじめとした「ふくしまの森」の復興に向けて、地域住民の皆さまや森林ボランティア、企業などが一堂に会して海外防災林の現状や再生の意義などについて考えますとともに、多様な主体による森林づくり活動を進めていく契機とするため開催いたしました。

復興大会

●会場／南相馬市民文化会館「ゆめはっと」（大ホール）

●来場者数／約400名

記念講演 13：00～13：40

〔講師〕 太田 猛彦（東京大学名誉教授）

〔演題〕 「ふくしまの森の再生と新しい森林づくり」

森林と水との関係を中心に、治山・砂防、森林管理、森林行政、環境行政、流域圏管理、技術者教育等に幅広く言及され、日本の森林業界のリーダーシップを図る東京大学名誉教授 太田猛彦先生による記念講演を開催しました。

過去そしてこれまでの森林づくりもヒントにしながら、東日本大震災による大津波で壊滅的な被害をもたらしたふくしまの海岸防災林をはじめ、海から里、森林へとつながるふくしまの森の再生と新しいふくしまならではの新たな森林づくりへのご提案をいただきました。



太田猛彦先生



講演風景

記念式典 14：00～15：10

記念講演後、「ふくしまの森・復興再生元年」となる今年度において、ふくしまの森の再生に向け力強く歩んでいくため、多数の来賓の方々にもご参加いただき記念式典を開催いたしました。

大会は、ふくしまの森・復興大会実行委員会 齋藤卓夫副委員長からの「開会のことば」で始まりました。

浅和定次大会実行委員会委員長より「主催者あいさつ」があり、未曾有の災害に襲われた本県の海岸防災林をはじめ県内の森林づくりについて、新たなる決意のもと、森林関係者をはじめ県民の皆さまとともに復興と再生に向け邁進することを誓いました。



浅和大会実行委員長のあいさつ

記念式典 14:00～15:10

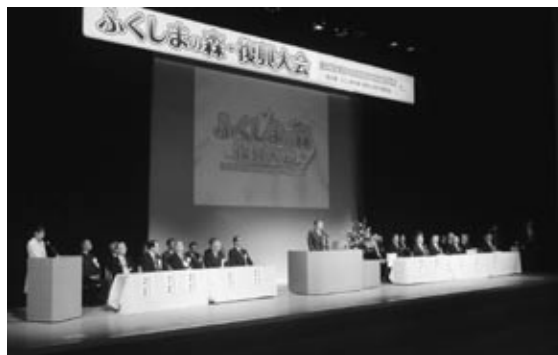
●来賓祝辞

- ・根本 匠 復興大臣
- ・佐藤 雄平 福島県知事
- ・平出 孝朗 福島県議会議員
- ・桜井 勝延 南相馬市長



来賓祝辞には、福島県選出国会議員の根本 匠復興大臣にもご出席いただき、地元福島県の復興と再生に「ふくしまの森の再生」は欠かせない要件であり、国としても全面的な支援を約束するとともに、県民と一体になって森林づくり事業に取り組んでいくことを誓いました。

さらに、佐藤雄平福島県知事の代理で村田文雄副知事から、平出孝朗福島県議会議員の代理で太田光秋福島県議会議員よりご祝辞をいただきました。最後に、地元、桜井勝延南相馬市長からも、未来の相双地域の安心と安全の確保には海岸防災林は不可欠なものであり、行政と地域住民とが一体となって取り組んでいくとお言葉をいただきました。



記念式典の様子

●ふくしまの森の復興に向けた意見発表

〈発表者〉 高橋 和子さん「相双地方の森づくりについて」

上原 和直さん「東北の復興に関わる苗木生産について」

福島県もりの案内人やグリーンフォレスターでもある相馬市在住の高橋和子さんからは「相双地区には私一人しかいないもりの案内人ですが、一緒になってふくしまの森をこれからも育てていきましょう」と会場に呼びかけ、続いて登場の(有)上原樹苗取締役／山林緑化アドバイザー、南相馬市在住の上原和直さんからは、震災から立ち上がるため東北の森を再生するために必要な



苗木の生産に寄せられる期待の大きさを感じながら、これからも海岸防災林に適した苗木の生産に励み、次世代に向け素晴らしい海岸の情景を残していきたいとお二人からは力強い意見発表をいただきました。

●大会宣言採択

〈提案者〉 南相馬市立原町第一中学校 角南 祥一郎さん／菊地 阿子さん



大会宣言の様子

今回の「ふくしまの森・復興大会」の開催を結び、最後には「大会宣言」が発表され、来場者の拍手をもって採択されました。提案者には、南相馬市立原町第一中学校 角南祥一郎さん／菊地阿子さん両名により「ふくしまの森」の復興を目指して自ら行動することを宣言いたしました。

- ふくしまの森が未来も豊かであり続けるよう森と人との絆や、森・川・海の自然のつながりを大切にする「共生と循環の理念」に基づいた森林づくりを進めていきます。
- 次世代の主役となり森林づくりを担う青少年を育成し、美しいふくしまの森を確実に未来に引き継いでいきます。
- 地域住民や森林ボランティア、企業等の多くの方々方が森林の整備・保全活動に取り組むシステムを構築し、森林づくりを社会全体で支えていきます。



祈念植樹式

●会場／南相馬市鹿島区北海老地区

●参加者数／約350名

前日の雨も上がり、「祈念植樹式」は当日風が少し強い中、津波被害で海岸防災林が壊滅した南相馬市鹿島区北海老地区にて、事前に応募いただいた一般参加者約300名の手で「クロマツ」の苗木を将来の海岸防災林となることを願い祈念植樹を行っていただきました。

植樹式に先立ち、震災で亡くなられた方々に対し参加者全員で黙祷をささげました。その後、主催者あいさつの後、「ふくしまの森・復興大会」の開催に対し、寄贈式が行われました。

<寄贈式>

○木製防風柵の贈呈

相馬地方森林組合、農林中央金庫福島支店、福島県森林組合連合会から、南相馬市に対し贈呈されました。

○「クロマツ」の苗木

KDDI株式会社から、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会へクロマツ苗木（1,000本）が贈呈されました。

・KDDI株式会社 理事 東北総支社長 菅野 養一 様

この祈念植樹式に事前に応募いただいた参加者には、宮城県、山形県をはじめ東京、神奈川、千葉からの参加者もあり、地元南相馬市、相馬市の参加者に加え、福島県内ではいわき、南会津、白河からも集い、小さなお子様連れやご家族、学生、会社有志のみなさん、個人参加のみなさんなど、大津波によって壊滅的な被害を受けた相双地区の海岸防災林の一刻も早い再生を願い、海岸防災林の復興によって得られる海岸地域のみなさまへの安心を届けたいという気持ちが強く伝わってきました。

これから何十年先の未来への安心のため、そして、この大会のテーマでもある「海から里、森林へとつながるふくしまの森づくり」にとっても、その第一歩となるのが、今回の「祈念植樹式」でした。「ふくしまの森の再生」がここから新たに始まりました。



大会実行委員会副委員長のあいさつ



寄贈式の様子

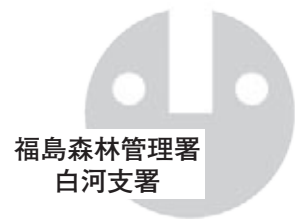
クロマツ苗木植樹



団体のページ

森林管理署×モ

国民参加の
森林づくり



東日本大震災により甚大な被害を受けた海岸林をはじめとしたふくしまの森の復興に向け、本年三月二二日に南相馬市において、森林づくり活動を進めていく契機とするため「ふくしまの森・復興大会」が開催されました。

被害を受けた海岸林を以前の姿に近づけるためには、長い期間が必要です。行政による取組に加え、地域住民やボランティアの方々等多くの方々の協力が必要になると考えます。

私も以前、相馬市にて家族四人で生活をした経験がありますが、仕事で震災後の壊滅状態の海岸林の姿を見たときには、改めて津波の強大さと被害の甚大さを実感させられました。

津波の影響は、福島第一原子力発電所にも被害を与え、放射性物質が

広く飛散し森林にも多大な影響をもたらしている。それは林業・林産業への影響にとどまらず、森林と人との接点にも影響をもたらしました。

国有林には、森林と人とのふれあいの場として多くの「レクリエーションの森」が設定されています。その中には地震・放射性物質等の影響から利用が停滞しているものもありますが、スキー場などのレク森は関係者のご努力で利用者が回復しつつあります。

また、国有林では、森林と人との接点を応援する「協定締結による国民参加の森林づくり」の制度があります。この制度では、活動内容により「ふれあいの森」「遊々の森」「木の文化を支える森」「多様な活動の森」「社会貢献の森」「モデルプロジェクトの森」といった区分の中で国有林

と協定を締結して森林整備、緑化、自然体験などの活動を行うことができます。

福島森林管理署白河支署管内でもこの制度を活用し、様々な団体が活動しています。その中の一つに白河市表郷地区の有志で結成された「おもてごう里山クラブ」と協定締結している「おもてごう天狗の森」があります。この森は、地域を代表する天狗山の落葉広葉樹林で、クラブでは登山道の整備、カタクリの保護など様々な活動を行っています。また、地元小学生を対象とした「2分の1成人式」や「日本一遅い?天狗山開き」等のイベントも毎年企画・実施し、県外の登山者も含め多数参加し

ています。

「協定締結による国民参加の森林づくり」の新たな活動として、既に廃止となっている赤面山にありました白河高原スキー場跡地の植生復元を目的として、本年一月に「赤面山植生復元実行委員会(仮称)」が、県南地区の団体等を中心に設立されました。

大震災以降、ふくしまの森林再生が大きな課題の一つになっています。停滞している森林整備や林業生産活動の活性化はもちろんですが、国有林内における「国民参加の森林づくり」の取組が、福島県の復興・再生を進める上での一助となることを願い取り組んで参ります。



2分の1成人式



日本一遅い?天狗山開き

林業労働災害ゼロを目指して

■県中農林事務所

林業普及指導員 米川 眞太

林業の作業現場は、地形が一様ではなく足元も不安定だったり、取り扱う機材なども様々なことから、多くの危険性が潜んでいます。

このため、他産業に比べ労働災害の発生率が極めて高い職種となっており、平成24年度には全国の死亡災害は37件、死傷災害は1,897件、このうち福島県では、死亡災害が1件、死傷災害が29件発生しています。

また、厚生労働省が策定した「第12次労働災害防止計画」では、平成25年～平成29年の5カ年で死亡者数及び死傷者数を平成24年比15%以上減少させることを目標としており、さらなる労働災害防止活動が求められています。

こうしたことから、林業における死亡災害ゼロや負傷災害の減少を目指し、森林組合をはじめ林業事業者に対して、労働安全の指導に取り組みました。

管内の森林組合では、それぞれ安全大会を開催しており、今回講師として参加しました。林業の作業に精通した作業員の方々と事業の管理のベテランである組合職員が対象ではありましたが、初心に戻って安全な伐木作業を思い出してもらえるようにと、基本的な伐木作業手順とリスクアセスメントの取り組みについて説明し、理解を得ました。

作業現場での指導、いわゆる先山指導では、県中地方の安全衛生指導員2名とともに、主伐及び間伐現場の作業員に安全な伐木作業技術等を指導しました。

現場では、防護服の着用、緊急時の連絡方法、合図の徹底、呼子の携帯、かかり木処理器具の現場への備え付け状況、チェーンソーの手入れ方法や、安全に作業道を作設する手順等の確認など、広く指導を行いました。

また、安全衛生指導員が実際に作業を実演し、伐倒方向の選定、伐倒から枝払、玉切りまでの作業を指導しました。間伐作業で、確実に狙った方向へ正確に伐倒すると、作業員も感心し熱心に教わっていました。

しかし、残念なことに、平成25年に県中管内では、伐採と木材の運搬作業時に2件の死亡事故が発生してしまいました。

これら2件の事故を踏まえ、今後とも、現場作業においては、基本に忠実で安全な作業を徹底し、死亡災害ゼロはもちろんのこと、負傷災害の大幅な減少を目指し、安全衛生指導員と協力しながら、森林組合や林業事業者への林業労働災害防止講習会や作業現場での直接指導を行い、林業労働災害の撲滅を進める普及活動を続けていきたいと思えます。



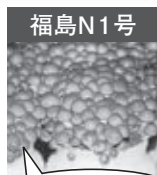
ふくしま中央森林組合安全大会



作業現場での安全な作業の指導（岩瀬郡天栄村）

きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

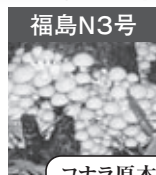


安定多収量

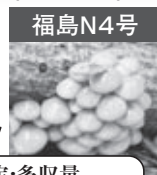


大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



- その他各種種菌
- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(1月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	9 (7~11)	1	9 (7~11)	1
		10~13		並	スギ	13 (13~15)	0	9 (9~9)	0	11 (8~13)	1	12 (8~15)	1
	中	14~18	3.00	並	スギ	15 (14~16)	0	11 (11~11)	0	14 (12~15)	3	14 (11~16)	1
				並	ヒノキ	23 (20~25)	1	(0~0)	0	17 (13~21)	1	20 (13~25)	0
		6.00	並	スギ	19 (17~22)	0	14 (8~20)	0	17 (15~19)	1	17 (8~22)	0	
			並	ヒノキ	32 (27~36)	2	(0~0)	0	24 (17~31)	0	28 (17~36)	1	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (15~16)	0	12 (12~13)	0	13 (12~15)	1	14 (12~16)	0	
		4.00	並	アカマツ	12 (9~15)	1	(0~0)	0	9 (9~10)	0	11 (9~15)	0	
		1.80	並	スギ	8 (5~10)	1	(0~0)	0	6 (4~8)	0	7 (4~10)	0	
			並	スギ	8 (5~10)	1	(0~0)	0	6 (4~8)	0	7 (4~10)	0	
外材	30以上	10.00	並	米ツガ	28 (28~28)	2	(0~0)	0	28 (25~31)	0	28 (25~31)	0	
			並	米マツ	30 (30~30)	1	29 (29~29)	0	30 (29~32)	0	30 (29~32)	1	
	28以下	4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (25~28)	0	27 (25~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
	70~90	8~14	並	カラマツ	22 (22~22)	2	(0~0)	0	25 (22~28)	0	24 (22~28)	1	
			並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
南洋材	8~14	並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0		
		並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0		
パルプ用材	-	-	並	マツ	5 (5~5)	1	(0~0)	0	4 (4~4)	1	5 (4~5)	1	
			並	広葉樹	5 (5~5)	1	(0~0)	0	7 (7~7)	1	6 (5~7)	1	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		8 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		9 (8~10)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

十二月の原木市場への入荷状況は、前月比四割増(前年比二割増)の三〇、一四一立方メートルとなっている。販売量については、前月比二割増(前年比二割増)の三〇、一〇一立方メートルとなっている。一〜十二月の取扱量は、入荷量は前年比五割増、販売量は前年比五割増となっている。一月の価格については、品薄高が続いている。

さて、墓の傍らにある案内板には、承安四年(一一七四)、吉次兄弟が砂金を交易して奥州平泉と京とを往来する途中、ここで群盗に襲われて殺害され、里人がそれを憐みこの地に葬り供養したと伝えられ、後に義経がここに立ち寄り吉次兄弟の霊を弔い、近くの八幡宮に合祀したと記されています。地元では「吉次様」の墓として信仰されており、明確な年代は特定できませんが、製作技法の特徴から室町時代頃の建立と推定されています。



中央が吉次の石塔



金売吉次の墓

県南農林事務所 前田 洋

義経ファンなら皆ご存じの金売吉次(かねうりきちじ)。その吉次兄弟の墓が白河市白坂皮籠地区にひっそりと建てられています。吉次は「平治物語」や「義経記」などに登場する人物で、都に上京し鞍馬寺を参詣した際に義経と出会い、その後、義経とともに奥州へ向かい、当時、京と並び栄華を誇った藤原秀衡と引き合わせる役目を果たします。かつて東北は豊富な金の産出地で、吉次は金を京に運び商いをする総元締めのような存在であったと言われています。

さて、墓の傍らにある案内板には、承安四年(一一七四)、吉次兄弟が砂金を交易して奥州平泉と京とを往来する途中、ここで群盗に襲われて殺害され、里人がそれを憐みこの地に葬り供養したと伝えられ、後に義経がここに立ち寄り吉次兄弟の霊を弔い、近くの八幡宮に合祀したと記されています。地元では「吉次様」の墓として信仰されており、明確な年代は特定できませんが、製作技法の特徴から室町時代頃の建立と推定されています。

実は、吉次の墓があるのはここだけでなく栃木県壬生町にも存在し、こちらは義経が頼朝と不仲となり奥州へ逃亡する際に同行していた吉次が当地で病死したとされています。いずれ謎の多い人物であるため、不明な点も多々ありますが、歴男、歴女の読者の皆様、近くにはおいしいラーメン店もたくさんありますので、白河にお越しの際は吉次兄弟の墓にも立ち寄り、歴史ロマンにひたってみてはいかがでしょうか。

ちなみに、煮付けにすると美味しい高級魚の吉次(別名キンキ)は、なにやら金売吉次を連想させますが、実際には何の関係もないようなのであしからず。

表紙の写真



「緑の桜川」

第28回ふくしま緑の写真コンクールで銀賞を受賞した柏館 健さん（いわき市）の作品。

はなしのひろば

花よりだんご……

NHK朝ドラ「ごちそうさん」が終わった。戦争という時代背景の中で、様々な「ごちそうさん」を見せられた。主人公のめい子さんは、「みんなのごちそうさんが聞きたくて」と言う。改めて毎日の「食」と食卓を囲む家族の存在を見直した。

「日本の食」といえばやはり和食だろうか。「二汁三菜（二菜）」という和食。ご飯、汁物、漬物のほか、要素さえ満たしていればお菜の内容は自由である。料理をする人の食の感性や創造性に任せられている。粋な話だ。器を吟味し、食卓に季節の飾りものをほどこせば家庭料理も立派なおもてなしになる。私達の食生活にも少しの心配りで十二分に風土の四季を楽しむことができる。

季節を大事に生きている日本人は、昔から旬の食材をいかした料理を楽しんでいる。旬の食材は、春は体内の毒素を排出させ代謝を促し、夏は体を涼しくし、秋、冬は、体を温めてくれる。季節毎の年中行事に作る食べ物も、実は体内の邪気を払い、長寿を願ってのことだ。季節のうつりかわりを丁寧にするといふと、日常の衣食住にとりいれてきた日本人の知恵には、生活を楽しむ豊かさとも奥ゆかしさがある。

昨年、日本の和食は、ユネスコの「無形文化遺産」に登録された。和食の栄養バランス、食材の形や盛付けの美しさだけでなく「季節を愛でる日本人の心」も一緒に登録されたことだろう。

ところで、この四月号がでる頃、桜前線はどこまで北上しているだろう。お花見は、桜の木の下で山の神にお酒やごちそうを捧げ、豊作を祈願したのが謂れとか。

花よりだんご……。いやいや、「花もだんごも」である。

（都）

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

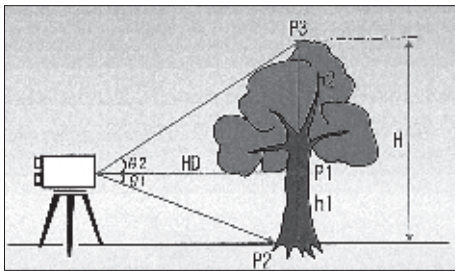
発行人

相馬 雅俊
陽光社印刷株式会社

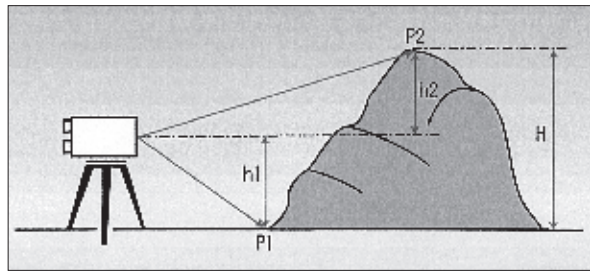
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

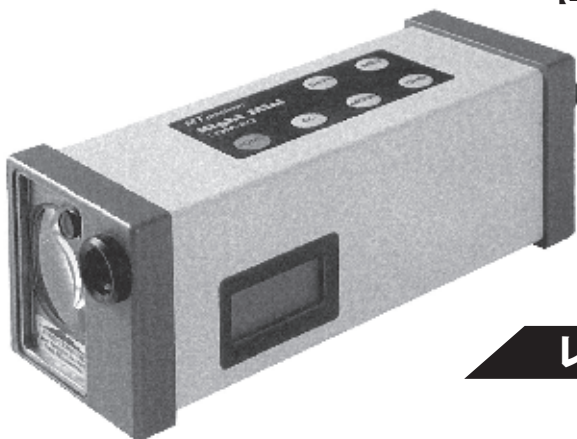


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



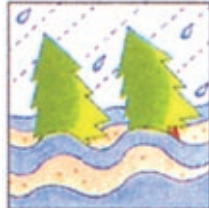
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



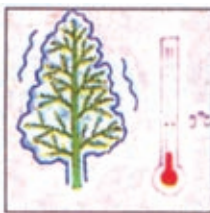
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (楽退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパーシュレッダ

プロソー



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1